

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	機能性構音障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期 2-4限	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	前川圭子	実務経験と その関連資格	音声言語認定士の資格を有する。言語聴覚士になって以降現在まで継続的に、機能性、器質的構音障害の治療を担当してきた。			
《授業科目における学習内容》						
機能性構音障害の生じるメカニズムが理解できる。 構音の評価・治療法が理解できる。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:佐藤亜紀子他「小児発声発語障害」建帛社						
《授業外における学習方法》						
配布資料や教科書に目を通す						
《履修に当たっての留意点》						
発声発語器官の解剖、音声学の基礎知識に目を通しておいて下さい。積極的な授業参加を期待します。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	発声発語器官・構音器官の解剖生理について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	発声発語器官・構音器官の解剖生理を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	発声発語器官・構音器官の解剖生理について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	発声発語器官・構音器官の解剖生理を学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	表出言語を支える能力の発達を理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	構音器官の運動、音声知覚、音声産生、知的能力の発達を学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	表出言語を支える能力の発達を理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	構音器官の運動、音声知覚、音声産生、知的能力の発達を学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	正常構音について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す	
		各コマにおける授業予定	正常構音の構音点、構音様式について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音の誤りについて理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	異常構音の構音点、構音様式について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音の誤りについて理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	異常構音の構音点、構音様式について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	発話障害の原因を理解し分類できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	発話障害の要因と分類方法を学ぶ		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	構音の評価ができる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	構音検査法概論		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	構音の評価ができる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	構音検査法概論		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音障害の治療に必要なその他の検査法を理解する	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	発達スクリーニング、聴力検査法、口腔内評価を学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音指導法について理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	構音指導法概論		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	構音指導を実際に体験し、指導法を説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	構音指導法実習		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	第1～13回の内容を理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	演習とまとめ		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	第1～14回の内容を理解し説明できる	パソコン(動画音声付きパワーポイント)、スピーカー、ポインター、マイク、教科書	配布資料に目を通す
		各コマにおける授業予定	演習とまとめ		